

「2050 としまゼロカーボン戦略」（仮称）の策定について

1 策定の背景

（1）2050 年ゼロカーボンに向けた動向

- 近年、酷暑や台風、集中豪雨などの異常気象による大規模な自然災害が頻発していることから、気候変動への対応が急務となっており、SDGs においても「13. 気候変動に具体的な対策を」として達成すべき目標に掲げられている。
- 2015 年に合意されたパリ協定では「世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて 2 度より低く保ち、1.5 度に抑える努力をすること」を目標。
- 2018 年 IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書で、「気温上昇を 2 度よりリスクの低い 1.5 度に抑えるためには、2050 年までに CO2 の実質排出量をゼロにすることが必要」と明記。
- 東京都は、2019 年 5 月、平均気温の上昇を 1.5℃に抑えることを追求し、2050 年に CO2 排出実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」を宣言。
- 2020 年 7 月 17 日、内閣府より、SDGs への優れた取組を行う自治体として「SDGs 未来都市」に選定。「自治体 SDGs モデル事業」とのダブル選定。
- 国内外で脱炭素社会の実現への動きが加速している中、SDGs 未来都市に選定された豊島区は率先してこの課題に対応すべく、ゼロカーボンシティを目指すこととした。

（2）気候変動サミットにおける各国の温室効果ガス削減目標（R3.4.22 開催）

国	基準年	削減目標
中国		2030年までにCO2排出量を減少に転じさせ、2060年までに実質ゼロ
米国	2005年比	2030年のCO2排出量を50～52%削減
インド		2030年までのCO2削減で対米協力
ロシア	1990年比	2030年の排出量を7割に抑制
日本	2013年度比	2030年度までに46%削減
ドイツ	1990年比	2030年までに55%以上削減(EU加盟国と欧州議会が合意)
カナダ	2005年比	2030年までに40～45%削減

(注)CO2 排出量の多い国順に表記

(3) 豊島区ゼロカーボンシティ宣言について

豊島区長は、令和3年2月18日の第1回区議会定例会において、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明した。

【ゼロカーボンシティとは】

2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを旨とする首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体のこと。

23区：葛飾区、世田谷区、豊島区、足立区、港区、中央区

市部：多摩市、武蔵野市、調布市、国立市、狛江市 ※令和3年5月14日時点(環境省HP)

※ 豊島区は23区で3番目、都内4番目の宣言

【ゼロカーボンシティに向けたイメージ】



(4) 令和3年度のスケジュール



(5) 豊島区環境基本計画に関わる主な動向

年	～平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	
世界	IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次評価統合報告書の公表	持続可能な開発目標(SDGs)(H27採択、H28～R12)						
		パリ協定(H27採択、H28発効)						
国	第四次環境基本計画(H24～H29)				第五次環境基本計画(H30～R5)			
	地球温暖化対策計画(H28～R12)							
	第四次エネルギー基本計画(H26～H29)				第五次エネルギー基本計画			
	水素・燃料電池戦略ロードマップ(H26策定、H28、R1改定)							
	建築物省エネ法(H28施行、R3改正法施行)							
	気候変動適応法(H30施行)							
	気候変動適応計画(H30～R4)							
	SDGs実施指針(H28策定、R1改定)							
	パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略							
							革新的環境イノベーション戦略	
						2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略		
都	「2020年の東京」計画(H23～R2)							
	前計画(H20～H28)			東京都環境基本計画				
	ゼロエミッション東京戦略							
	気候変動適応方針							
	プラスチック削減プログラム							
ZEV普及プログラム								
東京都資源循環・廃棄物処理計画(H28～R2)								
区	前構想(H15～H26)	豊島区基本構想(H27～R5)						
	前計画(H18～H27)		豊島区基本計画2016-2025					
	豊島区環境基本計画2014-2018					豊島区環境基本計画2019-2030		
	第二次計画(事務事業編)(H25～H28)			第三次豊島区役所地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(H29～R5)				
	第三次豊島区一般廃棄物処理実施計画(H26～R2)							
	豊島区都市づくりビジョン(H27～R17)							
	前計画(H23～H28)			豊島区みどりの基本計画				

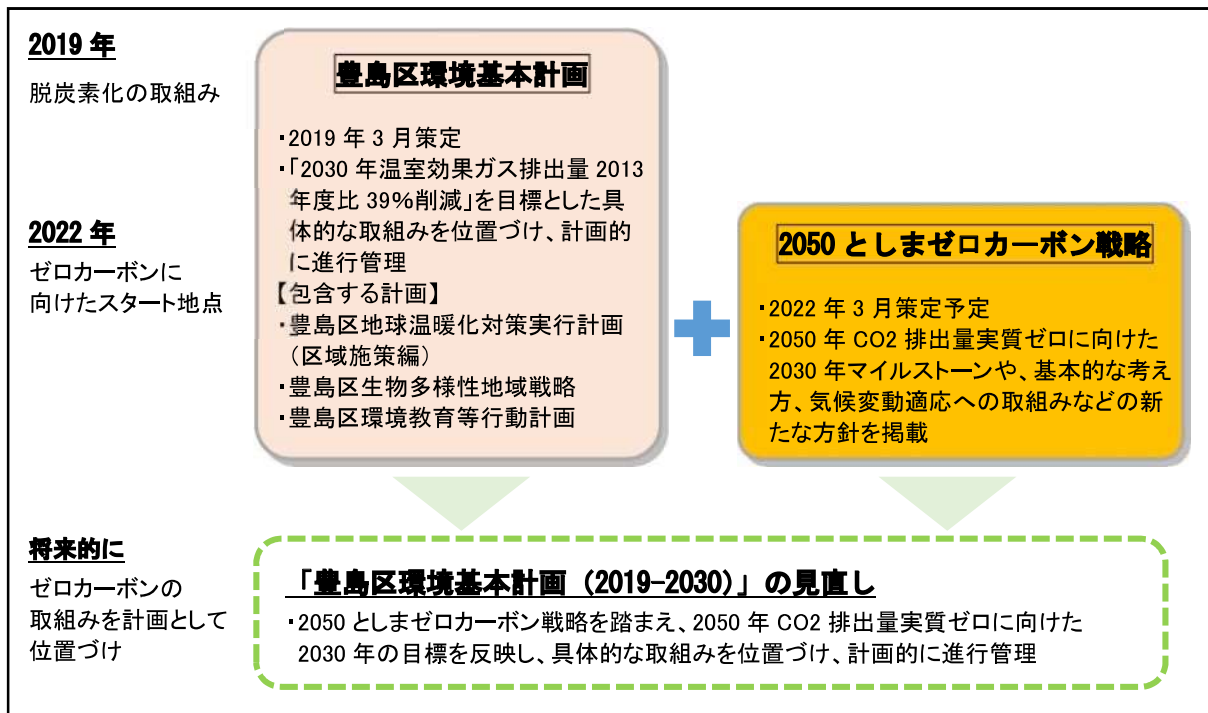
2 戦略の位置づけ

○本区は、2019年3月に、区の環境保全に関する目標や施策、施策の推進方法などを定めた「豊島区環境基本計画(2019-2030)」を策定し、その中で「2030年度における温室効果ガス排出量を2013年度比39%削減」の目標を設定しています。

○近年の国内外における2050年ゼロカーボンに向けた動向や、2021年2月の本区におけるゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、2050年実質ゼロに向け、温室効果ガス削減目標を再度検証の上、さらなる目標の上積みや気候変動適応への取組みなどの新たな方針を示すものです。

※なお、戦略策定後は、「豊島区環境基本計画(2019-2030)」の見直しを図り、2050年実質ゼロに向けた目標を反映するとともに、具体的な取組みを位置づけ、計画的に進行管理していきます。

本戦略と豊島区環境基本計画の関係図



3 「2050 としまゼロカーボン戦略（仮称）」のイメージ

